
「遺伝子関連検査を用いた遺伝性腫瘍診断の実態と課題」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録の情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2015 年 12 月 01 日～2025 年 3 月 31 の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、各種の遺伝子関連検査を実施した患者さんや遺伝性腫瘍外来を受診された患者さんを対象とします(遺伝性腫瘍外来で遺伝カウンセリングを実施した結果、検査に至らなかった方も対象となります。)

2. 研究の目的

本研究では、遺伝子関連検査を受けた患者と遺伝性腫瘍外来の受診者を対象に、遺伝子関連検査の結果や診療録をもとに後方視的に検討し、現行の遺伝性腫瘍の診療体制の問題点と今後の課題を明らかにし、効果的な対応方法を導き出すことを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 03 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

病院長の許可後～1 か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

通常診療で得られる診療録の情報から、遺伝子関連検査の結果、患者さんの背景情報、臨床病理学的因子、手術に関わる情報、遺伝カウンセリング実施情報について、後ろ向きに情報を収集・解析します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である松浦 一生が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

遺伝子関連検査を受けた患者さんと遺伝性腫瘍外来を受診された方を対象に、遺伝子関連検査の結果および診療録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 松浦 一生

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 松浦 一生

住所：〒350-1298

埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

遺伝カウンセリングの希望がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター・遺伝性腫瘍外来

毎週木曜日 13：00～15：00

第3火曜日 13：00～15：00

遺伝カウンセリングご希望の方は予約センター（042-984-0475）までお電話ください。

○研究課題名：遺伝子関連検査を用いた遺伝性腫瘍診断の実態と課題

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 教授 松浦 一生